

## 子育て なんでも相談室

Q 66歳の女性です。子育てはすっかり終わりましたが、最近、思うことがあります。どうして近頃の親は子供を叱らないのでしょうか。レストランでもスーパーでも、子供が何をしても叱らない親が多い、というより、多過ぎる気がします。

A いますよね。子供がスーパーで走り回ったり、商品を触りまくったりしても叱りもしない親が。私も若い頃は気になっていました。

自分の子供ができて気づいたのですが、私の妻も周りの親も結構、子供を叱っています。叱らないどころか、一日中、お小言を言う親もいます。なのに、どうしてそんな風に言われるのでしょうか。それは、「叱るべき場面」の認識が世間と親とで違うからだと思います。

一般的に親は自分に不都合が起こる場面で子供を叱ります。だから、例えば、5歳の子供がソフトクリームを食べると、食べ終わるまでに10回は叱られます。「ほらあ、服に付くじゃない！」

## 叱らない親が多い

「ほら、落ちる落ちる、もうっ!」。でも、世間が叱ってほしいのはそんな場面ではなく、食べ終わった後の紙を、その辺にポイ捨てしたときです。世間は、子供が公共マナーに反することをしたときの親の態度に注目し、そのときの様子で「近頃の…」と言いたくなるのです。

でも、よく見ると、「近頃の親」も、そんなときでも結構、叱っています。ただ、言い方が優しいのです。例えば、さっきの場面でも、「あれえ、どこに捨てたらいいかな?」「ゴミ箱に捨てておいで」と、ごく普通の言い方で注意をしていることが多いようです。

「こらあっ!」などと、少々きつ目に言ってこそ叱ったことになる、と考える人には物足りないかもしれませんが、本来、しつけとは教えることです。優しい言い方でもでき、その方が効果が大きいこともあります。人は誰も、自分の時代だけはちゃんとしていたと思っています。それですぐに「近頃の…」と言いたくなるのですが、もしかしたら、あなたが子育て真っ最中の時代も同じことが言われていたかもしれませんよ。

(こどもコンサルタント 原坂一郎)